



神を仰ぎ、人に仕う

Chapel News

2012年6月

No.6

「すべての重荷をかなぐり捨てて」

19世紀の中頃、アメリカ大陸をほろ馬車で横断した開拓者・パイオニアのことは、よく知られていることと思います。そのパイオニアたちが通った西部への道のメイン・ルートの一つに、“オレゴン・トレイル”と呼ばれる東西を大陸横断する街道があります。この道は、ミズーリ州のインディペンデンス市から始まり、オレゴン州のオレゴン・シティー市で終わります。

オレゴン街道は、2170マイル(3472キロメートル)の距離があります。25年以上の間、“陸路を越える者”と自称するおよそ50万人もの開拓者たちが、未開の川、野山をほろ馬車で危険な六ヶ月の旅をしたのです。このほろ馬車は、たいていの場合、雄牛によってひかれました。17人に1人が開拓時代の旅路中、事故、あるいは病で亡くなりました。

オレゴン街道の初のほろ馬車の一行は、1843年5月22日にミズーリを出発しました。ロッキー山脈を越え、何ヶ月かの道のりを行き、遂にオレゴン州とアイダホ州の州境にあるスネーク川に着きました。ここは、深く危険な峡谷のある非常に厳しい地帯で、Hell's Canyon・地獄谷と呼ばれる峡谷は、グランド・キャニオンより深い地形でもあります。

このパイオニアの第一行は、目的地に近づいたこの地点で、最大の挑戦に直面したのです。連れてきた牛などの家畜も衰弱し、倒れる寸前となり、そして、川を渡る途中、馬車の中の荷物の中から止むを得ず、大切な財産の一部を川へ投げ捨てなくてはなりませんでした。彼らは、所有財産を取るか、目的地へたどり着くことを取るかに迫られました。

この意味で、オレゴン街道は、魂の清めの過程でありました。それは、開拓者たちの価値観の試金石であったのです。

私たちが、神様の倫理の羅針盤・聖書に従い、人生の旅路に乗り出す時、あのパイオニアたちが直面したのと同じ選択を突きつけられます。私たちは、目標に焦点を合わせ続けなければなりません。そして、時には、目的地に到着することを妨げようとするものを捨て、荷を軽くしなければならぬ時もあります。

私たちも、アメリカのパイオニアの勇気を持ちましょう。人生の旅路に必要な犠牲を躊躇することなく払い、主の導きに従いましょう。私たちのために神様が選ばれた道から決してそれることのないように、目標に焦点を当て続けましょう。

「すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。」(ヘブライ人への手紙:新共同訳 12:1b-2a)

(欧米文化学科チャプレン E.D. オズバーン)

2012年度年間聖句

「もし一つの肢体が悩めば、ほかの肢体もみな共に悩み、一つの肢体が尊ばれると、ほかの肢体もみな共に喜ぶ。」

(コリント人への第一の手紙 第12章 26節)

聖学院教会祈禱会

■毎週木曜日 18時30分～19時30分、緑聖ホールC室にて行っております。
ご自由にご参加ください。

- ・6月21日(木) 列王記第4章 菊地 順 チャプレン
- ・6月28日(木) 列王記第5章 東野 尚志 牧師 キャンパス祈禱会

全学礼拝期間について

2012年度の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、10時20分から10時50分です。どなたでも自由にご参加ください。

春学期／2012年4月10日(火)～7月20日(金)

秋学期／2012年9月25日(火)～1月18日(金)

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあがめさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず いだ 悪より救い出したまえ
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

6月19日(火)

-音楽礼拝-

奨励者 森野 光生
(総務部 部長)
司会者 菊地 順
奏楽者 渡辺 善忠

◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 453 番 1、2 節
聖 書 ヨハネによる福音書
14 章 4~6 節(新約 P.164)
祈 禱
奨 励 「道を示してくださるキリスト」
讃美・解説
祈 禱
讃美歌 453 番 3 節
主の祈り
後 奏

6月20日(水)

奨励者 山川 秀人
(総局長)
司会者 E. D. オズバーン
奏楽者 佐野 正子
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 354 番 1、2 節
聖 書 マタイによる福音書
22 章 35~40 節(新約 P.37)
祈 禱
奨 励 「歴史を学ぶということ」
祈 禱
讃美歌 354 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

6月26日(火)

奨励者 石津 靖大
(児童学科教授)
司会者 菊地 順
奏楽者 今村 優子
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 449 番 2 節
聖 書 ヘブル人への手紙
11 章 13 節(新約 P.355)
祈 禱
奨 励 「旅人」
祈 禱
讃美歌 449 番 4 節
主の祈り
後 奏

6月27日(水)

奨励者 山ノ下 恭二
(東大宮教会牧師)
司会者 E. D. オズバーン
奏楽者 相川 徳孝
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 452 番 1、2 節
聖歌隊による讃美奉献
聖 書 創世記
4 章 1~16 節(旧約 P.4)
祈 禱
奨 励 「認められている
という幸福」
祈 禱
讃美歌 452 番 3 節
主の祈り
後 奏

6月21日(木)

奨励者 岡部 剛
(大学学務部学生課 課長)
司会者 左近 豊
奏楽者 ナイティンゲール亜衣
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 “神の作品として生きる”
聖 書 エペソ人への手紙
1 章 15~19 節(新約 P.301)
祈 禱
奨 励 「心の目を開く」
祈 禱
讃美歌 “神の作品として生きる”
主の祈り
後 奏

6月22日(金)

奨励者 倉橋 基
(人事・経理部財務課 課長)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 今村 優子
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 66 番 1、2 節
聖 書 マタイによる福音書
10 章 1~10 節(新約 P.14)
祈 禱
奨 励 「ただで受けたのだから」
祈 禱
讃美歌 66 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

6月28日(木)

奨励者 小池 茂子
(児童学科准教授)
司会者 左近 豊
奏楽者 ナイティンゲール 亜衣
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 “永遠にあなたと”
ハンドベル・クワイアによる讃美奉献
“What a friend We have in Jesus”
聖 書 ルカによる福音書
24 章 32 節(新約 P.134)
祈 禱
奨 励 「エマオのキリストに思う」
祈 禱
讃美歌 “永遠にあなたと”
主の祈り
後 奏

6月29日(金)

奨励者 川崎 司
(日本文化学科教授)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 松本 周
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 122 番 1、2 節
SPO による讃美奉献
聖 書 マルコによる福音書
10 章 13~16 節(新約 P.68)
祈 禱
奨 励 「ぼくがボクでよかったな」
祈 禱
讃美歌 122 番 3 節
主の祈り
後 奏